



# かしの木

第11号

祝 創立150周年

## 子ども達が自ら学ぶ授業を目指して

文部科学省では、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」と題して、全ての子どもたちの可能性を引き出す学校教育の在り方について「個別最適な学び」と「協働的な学び」という2つの学びの実現を目指しています。

「個別最適な学び」とは、子供一人一人の学習の定着状況を把握し、自ら主体的に学習に取り組む機会を提供することです。一人一人の特性や学習進度に応じて、柔軟に指導を行います。

「協働的な学び」とは、探究的な学習や体験活動等を通じて、多様な他者と協働しながら学ぶことを通して、異なる考え方が組み合わせられ、より良い学びを生み出す学びを指します。

渋川小学校では、こうした2つの学びの実現を図るために、校内で先生方が互いに授業を見て、その指導力を高め合う取り組みを進めています。

今年度は「国語科の「話す・聞く」領域の指導力向上」と「算数科の「数と計算」領域の指導力向上」に取り組んでいます。9月は外部の先生をお呼びして、更に深い授業改善に取り組みました。

上旬には5年生で国語科の授業を、中旬には4年生で算数科の授業を行いました。目指すのは、児童一人ひとりの深い学びです。子ども達も真剣に授業に取り組み、先生方も自分が授業をするならという目で授業を参観しました。



(5年生の授業より)



(4年生の授業より)



## 幼稚園との交流を進めています

渋川小学校では、幼稚園や保育園の卒園生が安心して入学・生活できるように普段から交流を進めています。生活科の発表会など、いろいろなところで交流を深めています。



# 渋川小学校 150年の歴史を振り返る

その3

今年「渋川小学校創立150周年」をお祝いする年です。そこで、数回に分けて渋川小学校の歴史を紹介したいと思いますので、お付き合いください。

今回から大正・昭和へと進みます。

## ○大正5年

宮久保の校舎が火災にあう。大正6年8月、神明森（現在の場所）に渋川尋常小学校の校舎が完成する。次の年には、奉安殿設置とかしのきの移植が行われた。

この時期は、1～3年生は「米沢分教場」「吉倉分教場」で学習し、4年生以上は「渋川尋常小学校」で学習しました。今のような義務教育ではないため、授業料を払える家のみ、通うことができました。

## ○大正13年

高等科を併設し、「渋川尋常高等小学校」となります。

## ○大正15年

校舎を増築し完成する。

## ○昭和2年

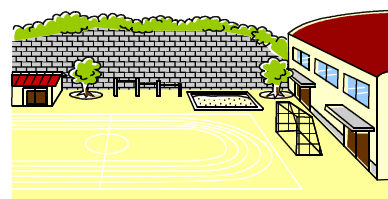
「青い目の人形」が日米親善の使節として贈られる。（校長室保存）

## ○昭和4年

12月に、校舎増築をする。

## ○昭和10年

講堂新築工事起工



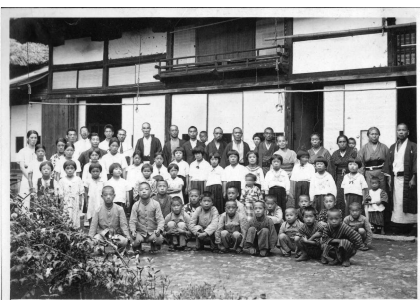
## ○昭和11年

校舎焼失。講堂新築工事中でした。その翌日（3月25日）に卒業式ががれきの中で挙行されました。原因は「火鉢の残り火」でした。学校の校舎が丘の上にあっただため、消火用の水が足りませんでした。

新しい校舎ができるまで、いろいろな場所に分かれて授業を受けました。

## ○昭和12年3月20日

新しい校舎と講堂が完成しました。時代は太平洋戦争に移っていきます。



昭和13年当時の子ども達の写真より